

ゼミ生卒論 電子出版

「ワインとキリスト教」「出生前診断」テーマ

同志社大神学部教授 スマホでも購読

同志社大神学部の小原克博教授(47)「キリスト教思想」が、今春卒業したゼミ生の卒業論文を電子出版した。個人でも電子書籍化できるようになったことから初めて取り組んだ。「卒業論文を一般の人が読むことはまずなかった。大学4年間の集大成を、広く発信したい」という。

インターネットで学術論文が公開されることが多くなっているが、学部生の卒論の公開はほとんどない。小原教授は、米アマゾン・コムが販売している電子書籍端末「Kindle」向けの電子出版に着手、100円で14人の卒業論集を出版した。アプリをダウンロードすれば、スマートフォン(多機能携帯電話)でも購読できる。テーマは「ワインとキリスト教」「出生前診断」「沖縄における宗教の共生」など。小原教授は「学術論文としてはまだまだだが、一般の人にも興味を持つ内容が多く、目の目を見ないのが惜しかった。出版されることで、学生たちの励みになる」と話している。

(梶井進)



電子書籍として出版された卒業論文集の表示画像。スマートフォンでも読むことができる(京都市上京区・同志社大)